



愛猫の脱走がきっかけで生まれた

脱走防止扉「にゃんがーど」が人気の理由

設置場所に合わせたオーダーメイド 5つのメリット

- 1. 設置場所に合わせたオーダーメイド**
設置場所に合わせて幅と柱の高さに受注制作。猫が容易に飛び越えられない高さ(1880ミリ)と通り抜けを妨げる間隔(20ミリ)で、高い脱走防止効果を発揮。
- 2. 両側から開閉可能なロックを採用**
扉のどちら側からでも開閉が可能で、人の出入りもスムーズ。ロックは扉が開けられない形状になっているが、それでも開けようとする対策として二重ロックも開発中。
- 3. 無垢材を使った高級感のあるデザイン**
耐久性・耐火性の高いヒノキや、バを使用ったスタイリッシュなデザインはどんな住まいにもマッチ。「玄関に設置したら、我が家が高級感あふれた」との声も。
- 4. 突っ張り型の柱で家を傷めず簡単に設置**
壁や床の「ディアウォール」を使用し、天井や床、壁に穴を開けることなく設置が可能。一戸建てから賃貸アパートまで、どんな住まいにも気軽に取付けられる。
- 5. DIY初心者でも一人で組み立て可能**
製品はパーツの状態でも届けられ、必要な工具も揃っている。DIY初心者でも一人で組み立てられる。カラーボックスが組み立てられるのと同様に30分程度。

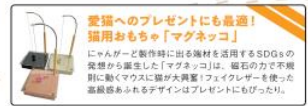
突っ張りタイプでどんな住まいにも対応

宅配便の受け取り、洗濯物を干しにベランダへ……好奇心旺盛でずばりこい猫は、一瞬の隙をついて飼い主の知らぬ間に外への「脱走」を図っていたりする。

ねこ工房の「にゃんがーど」は、そうした不安を解消する脱走防止扉。社長の長谷川大樹さん自身が愛猫に脱走されてしまったことをきっかけに誕生しました。

自宅用に製作した扉をSNSで公開したところ、「私も欲しい」との声が寄せられ、「やはり他の人も困っているのだと分かり、改良を加えて2015年にネット販売を始めた(長谷川さん)」。突っ張りタイプで工事不要の手軽さや、どんな住まいにもなじむデザインが支持されて、これまでに約5000台を販売しています。

「購入した方からは「自分で組み立てるのが楽しかった」という感想も。大切な愛猫のために手を動かして完成させることで思い入れも増やすです」と長谷川さん。要望を受けて商品のバリエーションを増やし、細部もより使いやすくブラッシュアップ。作り手と使い手の思いがこもった製品は今も進化を続けています。



ねこ工房
〒344-0126
埼玉県春日部市赤松 613-3
070-1761-0025 info@nekokobo.jp

愛犬との心地よい暮らしを見つけました。
その暮らしを叶える「秘訣」をご紹介します。



愛犬たちが喜ぶ、くつろげる家って？
愛犬の目線に立つて考えたのが「愛犬家住宅」です。犬ならではの生態・習性とともに、その「秘訣」をご紹介します。

愛犬の空間をつくる 安らげる “わたしの部屋”



愛犬が日々落ちていて過ごせるような、専用のスペースを設置。

理想の「愛犬家住宅」

- 犬が理想とする居場所とは？
- A. 洞穴をイメージさせるような、天井の低いスペース**
犬の祖先は洞穴で暮らしていたため、本能的に囲まれた狭い空間に安心感を覚えると言われています。広さだけでなく、天井も低くしてあげることがポイントです。
- <参考>愛犬家住宅コーディネーターテキスト スタッフアップ148>

「愛犬家住宅」を叶える

- 秘訣①** 生活空間を区切る居場所づくり
- 秘訣②** 生態に沿った“洞穴”を連想させるスペース
- 秘訣③** 愛犬が家族の姿を見せる“土間”

AMILIE 愛犬家住宅・愛猫家住宅

お問い合わせ先 (株)備中屋本店
鳥取県米子市東原3-9-9
フリーダイヤル 0120-939-197

my room 秘訣① 開け閉め出来る、愛犬ルーム



ガラス戸で仕切ったインナーテラスが、愛犬2匹のための専用スペース。テラスの上部は窓を設けることで、風が通るように工夫。来客がある時には、テラスの戸を開けて、愛犬たちはテラス内で過ごすなど状況に応じた使い方が作り手に、家族の集まるリビングが見渡せるので、愛犬も安心を感じて過ごすことができます。また飼い主にとっては安心。

理想の「愛犬家住宅」

- 家に愛犬の居場所を設ける時の注意点は？**
- A.「温度」「直射日光」に加え、「音」「匂い」もチェック。**
愛犬にハウスの特徴をしってもらう場合は、その居場所が暑すぎたり寒すぎたりしないように注意し、直射日光が当たらない場所に設置してあげましょう。騒音がしない場所を選ぶと愛犬が落ち着くでしょう。
- 匂いが気にならない場所かどうかを考慮して決めると、飼い主さんご家族にとっても快適性が増すでしょう。
- 愛犬の居場所を設置する「位置」はどこが良い？**
- A. 家族の気配を感じるけれど静かに休める場所が◎**
犬は群れることで生きる習性がありますが、ひとりで静かに休みたい時もあります。寂しい場所であったり飼い主さんご家族と距離感が近すぎたりすると、愛犬がゆくり休めずストレスを感じる恐れがあります。
- 「家族の気配を感じる」程度の距離感を意識して愛犬の居場所の位置を考えてあげると良いでしょう。

my room 秘訣② 天井の低いマイルーム



スキップフロアの階段で、愛犬のためのスペースをアレンジ。囲んだ穴窟のような空間は、犬も本能に合った、安らげる“わたしの部屋”。ふかふかのクッション付きのテイビーメントも天井が低く、愛犬にとっての心地よい居場所。また見た目も洒落。

+αの犬point
愛犬のための、専用の通り道
愛犬の出入口を設けた壁。
怪我をしないように、くぐり戸はやわらかい素材を使用。

my room 秘訣③ 家族を感じながら過ごす「土間空間」



大型犬がいるご家庭におすすめなのが、リビングへつづく広い「土間」を愛犬の居場所にするという方法。遊び場である庭に面した足湯い境。愛犬グッズの収納場所を備えた機能的な動線が理想的。お洒落な犬小屋をイメージさせるデザインを施し、犬のサイズに合わせた広いスペースが愛犬にとっての心落ち着ける自分の部屋に。

玄関からリビングに沿うように、広く長く続く土間。
リビング全体を見渡すことが出来る「土間」に、愛犬専用のマットを設置することで、愛犬はいつでも家族の存在を感じることが出来る。散歩を終えて帰宅した愛犬は、真っ直ぐに「土間」にある自分の居場所に戻ることが出来る。

もっともっと家で遊ぼう

愛犬の遊び場を考える

- 芝生のドッグランを走り回ろう**
二匹目の目を運動不足解消・ストレス発散のためのスペースとして活用すれば、ドッグランも犬にとっての遊び場の一つに。ただし、マシソンやアパートなどのベランダやバルコニーを遊び場とする場合は、共用スペースとなるため、マナーを守った使い方が必要。
- バルコニーの使い方を見直そう**
「愛犬が転落する危険性がないか」ということには十分気を付けておきましょう。加えて、犬にとっての遊び場として活用する際には、犬の安全を確保するための対策が必要です。
- 園上ドッグランで遊びの幅を広げよう**
都会の狭小地で犬を飼うご家庭の多くは、自宅の敷地内に十分な遊び場がないのが現状です。多様な遊び場を確保し、愛犬と遊ぶためのスペースを確保することが、愛犬の健康と幸せにつながります。